飲酒運転根絶ローラー作戦 実施中

配布の短冊です

飲酒運転を無くそう!!

「飲酒運転の根絶」をめざし、交通安全協会役員が管内の全世帯 22000 戸を訪問し、「飲酒運転根絶短冊」を手渡ししながら注意を呼びかける「ローラー作戦」を実施しています。

この活動は平成 29 年 11 月から年末にかけて、行っています。

飲酒運転はダメ
全家庭にチラシ
十日町地区安協
自宅で飲酒してから自動車を運転し、検挙されるケースが急増しているなか16日、十日町交通セ
ンターで郡市の交通安全協会支部長などが集まり「飲酒運転根絶ローラー作戦」をスタートさせた＝写真。
同作戦では「飲酒運転撲滅」と書かれた短冊チラシを管内全家庭に配布する。十日町地区交通安全協会の鈴木登会長は「飲酒運転は重大な事故に繋がる犯罪。一般の事故と違い、ドライバーが意識すればゼロになる」と話し、十日町署の松川篤治副署長は「管内は10月末現在、飲酒運転は20件発。周辺の小出署2件、小千谷署7件などに比べ非常に多い。取り締まりは強化するが、互いに根絶に向け頑張りましょう」と呼びかけた。

管内で飲酒運転激増!!
急ぎよ根絶ローラー作戦
飲酒運転根絶短冊を手にする役員ら
家族の約束。しない・させない・許さない―
管内で飲酒運転が激増、昨年1年間の取締り件数を越えた。郡市交通安全対策協議会（会長＝関口十日町市長、副会長＝上村津南町長）では急きょ「飲酒運転根絶ローラー作戦」の実施を決め「根絶短冊（オリジナル短冊）」を作成、16日、十日町交通センターで十日町安協役員に手渡した。短冊は全世帯に配布される。
1月から10月末までの飲酒運転取締り件数は合計30件（飲酒での交通事故7件、検問・警ら活動での取締り13件）で、昨年1年間の件数を上回るペースで推移している。家族の皆さんから酒を飲む人に呼びかけて欲しいと、ローラー作戦を行う事にした。地域から交通事故、飲酒運転がゼロになるようにと強く訴えた。
また松川十日町署副署長は「酒に飲まれてハンドルを握る、これは凶器になる事はない。地域をあげて頑張りましょう」と呼びかけた。

29 年 11 月、地元新聞社の各紙に掲載・報道されました